



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月9日

上場会社名 JALCOホールディングス株式会社
 コード番号 6625 URL <http://www.jalco-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田辺 順一

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 松島 正道

TEL 050-5536-9824

四半期報告書提出予定日 2018年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	532	188.9	267		164		143	61.0
2018年3月期第2四半期	184	15.2	15		37		367	528.6

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 141百万円 (58.5%) 2018年3月期第2四半期 341百万円 (121.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	2.69	2.49
2018年3月期第2四半期	7.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	16,282	4,949	30.4	82.22
2018年3月期	14,280	3,894	27.2	74.45

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 4,949百万円 2018年3月期 3,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		0.00	0.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,050	89.9	610	269.3	420	1,069.5	340	17.1	6.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 有
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	60,195,732 株	2018年3月期	52,181,632 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	428 株	2018年3月期	428 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	53,329,523 株	2018年3月期2Q	49,863,353 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている事業見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高5億32百万円（前年同期比188.9%増）、営業利益2億67百万円（前年同期は15百万円の営業損失）、経常利益1億64百万円（前年同期は37百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億43百万円（前年同期比61.0%減）となりました。

貸金業におきましては、当第2四半期連結会計期間末の貸出金残高が40億15百万円（前期末比131.5%増）となりました。

不動産賃貸事業におきましては、当第2四半期連結会計期間において新たな物件の取得はございませんでした。

当第2四半期連結累計期間の売上高については、貸出金利息が前年同期比162.0%増加し、不動産賃貸収入が同206.1%増加したため、売上高は合計で前年同期比188.9%増となりました。

不動産賃貸事業の増加に伴い減価償却費が増加したことにより、売上原価は前年同期比で494.8%増となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は2億67百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の経常損益についても不動産投資残高の増加に伴う長期債務の増加により、支払利息が増加しましたが、1億64百万円の経常利益となっております。

法人税、住民税及び事業税38百万円、法人税等調整額△19百万円等を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億43百万円となりました。

[セグメント情報]

詳細は、11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」のとおりですが、主たる報告セグメントの業績は次のとおりであります。

また、前第3四半期連結会計期間より、各報告セグメントの実態をよりの確に把握するため、全社と各報告セグメントの測定方法の見直し、並びに当第2四半期連結会計期間より、各報告セグメントへの共通費の配賦方法の見直しを行っております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の方法で作成しております。

(貸金事業)

当事業部門におきましては、収益性、回収可能性等を慎重に吟味した上で、新規の取組みを行っており、売上高は1億81百万円（前年同期比162.0%増）、セグメント利益は1億6百万円（前年同期比264.0%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

当事業部門におきましては、前年度に新規取引を開始したことにより、売上高は3億50百万円（前年同期比206.1%増）、セグメント利益は1億24百万円（前年同期は30百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比較して19億53百万円増加し、46億25百万円となりました。これは主に、営業貸付金が22億81百万円増加した一方で、現金及び預金が1億50百万円、未収消費税等が1億26百万円、売掛金が21百万円それぞれ減少したことなどによりです。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して48百万円増加し116億57百万円となりました。これは主に、長期前払費用が47百万円増加したことなどによりです。

以上により、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して20億2百万円増加し、162億82百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末と比較して25億65百万円減少し、6億69百万円となりました。これは主に、短期借入金を長期借入金に借り換えたことなどにより短期借入金が26億90百万円減少したことなどによりです。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して35億12百万円増加し106億64百万円となりました。これは主に、短期借入金からの借り換え及び新規借入で長期借入金が35億12百万円増加したことなどによりです。

以上により、当第2四半期連結会計期間末の負債残高は、前連結会計年度末と比較して9億47百万円増加し、113億33

百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して10億55百万円増加し、49億49百万円となりました。これは主に、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金が合計で9億22百万円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益1億43百万円を計上したことなどによります。

なお、当社は、第1四半期連結累計期間において欠損填補を行っております。詳細は、10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)」をご覧ください。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して1億50百万円減少し、3億6百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、20億2百万円の支出となりました。これは主に、営業貸付金が22億81百万円増加した一方、未収消費税等1億26百万円が還付されたことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、34百万円の支出となりました。これは主に、不動産取得税の納付により16百万円、ソフトウェアの取得により5百万円及び保険積立金の積立により11百万円を支出したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、18億86百万円の収入となりました。これは主に、長期借入金の借入による収入43億3百万円及び新株予約権の行使による収入9億13百万円を計上した一方、短期借入金の返済により26億90百万円、長期借入金の返済により6億35百万円及び借入金の新規借入により初期費用10百万円を支出したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想に関しましては、2018年5月11日発表「平成30年3月期決算短信」にて公表いたしました業績予想数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	599,914	449,133
信託預金	141,487	143,810
営業貸付金	1,734,497	4,015,995
売掛金	21,600	—
未収入金	4,289	2,771
未収収益	5,790	28,906
未収消費税等	126,111	—
その他	48,272	7,995
貸倒引当金	△10,406	△23,369
流動資産合計	2,671,557	4,625,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	671,187	649,319
信託建物（純額）	934,495	915,477
工具、器具及び備品（純額）	4,987	4,098
土地	7,278,005	7,291,921
信託土地	2,401,791	2,401,791
有形固定資産合計	11,290,468	11,262,608
無形固定資産		
ソフトウェア	34,281	33,591
電話加入権	284	284
無形固定資産合計	34,565	33,875
投資その他の資産		
投資有価証券	190,272	188,294
破産更生債権等	174,803	174,803
長期未収入金	84,011	89,807
長期前払費用	15,606	62,638
差入保証金	24,040	24,390
繰延税金資産	31,845	51,688
その他	22,334	34,198
貸倒引当金	△258,815	△264,611
投資その他の資産合計	284,099	361,210
固定資産合計	11,609,133	11,657,694
資産合計	14,280,690	16,282,939

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	2,690,000	—
1年内返済予定の長期借入金	235,280	390,148
未払法人税等	115,200	50,401
前受金	38,806	38,806
信託前受金	18,690	18,690
匿名組合預り金	106,460	121,026
その他	30,493	50,281
流動負債合計	3,234,931	669,353
固定負債		
長期借入金	6,790,476	10,303,189
長期預り保証金	254,098	254,098
信託預り保証金	106,592	106,592
その他	551	479
固定負債合計	7,151,719	10,664,360
負債合計	10,386,650	11,333,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,105,447	2,566,738
資本剰余金	4,157,999	3,730,973
利益剰余金	△2,362,260	△1,330,388
自己株式	△50	△50
株主資本合計	3,901,135	4,967,273
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16,229	△18,207
その他の包括利益累計額合計	△16,229	△18,207
新株予約権	9,134	158
純資産合計	3,894,040	4,949,224
負債純資産合計	14,280,690	16,282,939

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	184,292	532,358
売上原価	15,340	91,248
売上総利益	168,951	441,109
販売費及び一般管理費	184,365	173,821
営業利益又は営業損失(△)	△15,413	267,288
営業外収益		
受取配当金	7,677	8,172
受取賃貸料	3,275	3,208
為替差益	411	5,745
貸倒引当金戻入額	9,572	—
その他	230	456
営業外収益合計	21,168	17,582
営業外費用		
支払利息	29,884	97,627
賃貸不動産経費	798	752
貸倒引当金繰入額	—	5,796
借入手数料	5,971	15,832
その他	6,104	859
営業外費用合計	42,758	120,867
経常利益又は経常損失(△)	△37,004	164,003
特別利益		
固定資産売却益	532,915	—
特別利益合計	532,915	—
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	495,911	164,003
匿名組合損益分配額	2,062	1,790
税金等調整前四半期純利益	493,848	162,212
法人税、住民税及び事業税	79,629	38,500
法人税等調整額	46,576	△19,843
法人税等合計	126,206	18,657
四半期純利益	367,642	143,555
親会社株主に帰属する四半期純利益	367,642	143,555

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	367,642	143,555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,511	△1,977
その他の包括利益合計	△26,511	△1,977
四半期包括利益	341,131	141,577
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	341,131	141,577

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	493,848	162,212
減価償却費及びその他の償却費	12,864	52,287
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△146	18,759
受取利息及び受取配当金	△7,774	△8,247
支払利息	29,884	97,627
有形固定資産売却損益(△は益)	△532,915	—
借入手数料	5,971	15,832
信託預金の増減額(△は増加)	△106,748	△2,322
売上債権の増減額(△は増加)	△3,940	△1,515
営業貸付金の増減額(△は増加)	141,756	△2,281,497
その他	144,796	126,815
小計	177,595	△1,820,049
利息及び配当金の受取額	7,774	8,247
利息の支払額	△27,147	△95,305
法人税等の還付額	5,509	2,432
法人税等の支払額	△2,909	△97,377
営業活動によるキャッシュ・フロー	160,822	△2,002,052
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,000	—
有形固定資産の売却による収入	1,832,319	—
有形固定資産の取得による支出	△3,358,696	△16,742
無形固定資産の取得による支出	—	△5,000
差入保証金の差入による支出	—	△600
預り保証金の受入による収入	864	—
預り保証金の返還による支出	△24,800	—
長期前払費用の取得による支出	△81,669	△700
その他	△11,718	△11,864
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,653,701	△34,906

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	36,000	△2,690,000
長期借入れによる収入	2,995,000	4,303,000
長期借入金の返済による支出	△1,111,804	△635,419
信託長期借入金の返済による支出	△31,500	—
社債の発行による収入	—	200,000
社債の償還による支出	—	△200,000
借入手数料の支払額	△5,971	△19,910
匿名組合員からの出資払込による収入	108,700	121,000
匿名組合員への出資払戻による支出	△123,000	△106,100
新株予約権の行使による株式の発行による収入	326,610	913,607
自己株式の純増減額 (△は増加)	△4	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,194,029	1,886,178
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	701,151	△150,780
現金及び現金同等物の期首残高	204,092	457,043
現金及び現金同等物の四半期末残高	905,243	306,262

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第2回新株予約権の権利行使による新株発行に伴い、当第2四半期連結累計期間において資本金が461,291千円、資本準備金が461,291千円それぞれ増加しました。

また、2018年6月27日開催の第7回定時株主総会の決議により、同日付で資本準備金を888,317千円減少し、その同額をその他資本剰余金に振り替えた後、同日付でその他資本剰余金を888,317千円減少し、その同額を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,566,738千円、資本剰余金が3,730,973千円、利益剰余金が△1,330,388千円となっております。

(会計方針の変更)

(融資関連費用に関する会計処理)

金融機関等から資金調達をする際に前払いする融資関連費用につきましては、従来、発生事業年度の費用として処理しておりましたが、当社グループの事業において投資案件が大規模化していることに伴い、重要性が増してきている融資関連費用のうち実効金利の不可分の一部である手数料について、その経済的実態をより適正に期間損益に反映するため、第1四半期連結会計期間より「投資その他の資産」の「長期前払費用」に計上し、借入期間にわたって利息法により費用認識する方法に変更しております。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貸金事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	69,423	114,371	183,794	497	184,292	—	184,292
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	69,423	114,371	183,794	497	184,292	—	184,292
セグメント利益 又は損失(△)	29,385	△30,816	△1,431	348	△1,083	△35,920	△37,004

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子部品のブランド使用料であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△35,920千円は、内部取引消去76,097千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△112,018千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貸金事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	181,904	350,053	531,957	400	532,358	—	532,358
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	181,904	350,053	531,957	400	532,358	—	532,358
セグメント利益 又は損失(△)	106,947	124,383	231,331	△7,553	223,778	△59,775	164,003

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子部品のブランド使用料、中古遊技機売買サイトに係るシステムの減価償却費及び運営費並びにM&A事業に係るデューデリ費用等であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△59,775千円は、内部取引消去62,089千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△121,864千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、各報告セグメントの実態をよりの確に把握するため、全社と各報告セグメント測定方法の見直しを行っております。また、当第2四半期連結会計期間より、各報告セグメントの共通費の配賦方法の見直しを行っております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の方法で作成しております。